

平成26年度

浜田教育事務所だより

第48号 平成26年5月16日



- ◆ 所長あいさつ (P1)
- ◆ 派遣指導主事・社会教育主事より (P6)
- ◆ スタッフ紹介 (P2)
- ◆ 美郷町 (P4)
- ◆ 主な事務分掌 (P3)
- ◆ 邑南町 (P5)
- ◆ 学校訪問指導について (P6)
- ◆ 特別活動について (P7)
- ◆ 県教委からの配布物について (P8)

一体感のある取組を 所長 杉野本 智幸

桜の花びらが舞う中で入学式を迎えた平成26年度のスタートから、1か月が過ぎました。新緑のまぶしさと子どもたちののはつらつとした笑顔に胸をときめかせているのは、学校だけでなく、保護者や地域の方々も同じだと思います。



そして、私たち浜田教育事務所のスタッフも、市町教育委員会や各学校との連携・協力・支援等を通して、明日を担う子どもたちが、未来を切り拓いていくたくましさをも身につけていくことを願って日々業務に取り組んでいます。今年度は、8名の転入者を迎えました。「笑顔と元気、感謝の気持ちを大切にした風通しのよい職場」をモットーにしています。どうぞよろしく願いいたします。

県教育委員会では、今年度から、これまで校種別だった義務教育課と高校教育課を、機能別の教育指導課と学校企画課に再編し組織改正を行いました。これは、島根の子どもたちを小・中・高で一貫して育てていくことをより重視したものです。また、学校企画課内に新たに人材育成スタッフを置きました。学力育成に係る学校マネジメントの強化に力点を置くことを視野に入れたものです。喫緊の課題である学力育成に向けて、県と市町村が連携して取り組むこと、本庁と教育センター、各教育事務所が、研修と指導について一体となって取り組むことが、今、求められています。

さて、平成26年3月26日に島根県総合教育審議会から「今後を見通した島根県の教育の在り方について」の答申が出されました。これは、近々示される「第2期しまね教育ビジョン21」の根幹をなすものです。

この審議会で「教育の成果が地域社会の活力となつるためにはどうすればよいか」というテーマで繰り返し議論された結果、『島根を愛し 世界を志

す 心豊かな人づくり』という基本理念が設定されています。「答申にあたって」には、「島根県の各地域が有している豊かな自然、歴史、文化、産業、あるいは日々の暮らしを、価値ある教育的資源として再発見し、教師をはじめとする大人自身が、それらの資源と確かに結びつき心豊かに暮らしている姿を示すことによって、子どもたちは生まれ育った地域に誇りと愛着をもって育つことができる。そうした基盤の育ちがあつてこそ、高い目標、困難な課題、未知の領域等々の意味を含んだ「世界」に挑戦する人を育てることになるのではないか、またそのような人は自分を育ててくれたその場所との繋がりをいつまでも大切にする人になるのではないか」とその設定にあたっての思いが記されています。

また、「これからの社会を生き抜くため、子どもたちに必要な力」として示された、

- ① この世界の様々な事象・現象に旺盛な知的関心を向け、主体的に学び続けようとする『向かっていく学力』
- ② 身近な人々との温かな心の交流を基盤としながら、多様な他者との柔軟な交流や積極的な発信力へと展開する『広がっていく社会力』
- ③ 生命への畏敬と自他を等しく大切に思う人権意識に根ざし、魅力ある人間として成長しようとする『高まっていく人間力』

の3つの島根の教育目標が、この5年間の取組を進めていく上での3本柱とされています。

先日、非公式の場で、一人の審議委員の方からお話を聞かせていただく機会がありました。「この答申に込められた思いや、吟味を重ねた上で表されたひとつひとつの言葉の意味を、各教育現場にきちんと届けること、そして、その思いを共有する中で実行していくことが大切です。」と語られました。

幹の部分や根っここの部分こそ、学校も市町村教育委員会も県も思いを同じにして、一体となって子どもたちや保護者、地域の方々にかかわっていくことが大切であると考えています。皆様からのご意見をいただく中で、ご理解いただけるよう、教育事務所としても努力していきます。今後ともご協力をお願いいたします。

平成26年度 浜田教育事務所スタッフと主な事務分掌

- ◆ 氏名の下（57**）は浜田合庁勤務スタッフの電話番号です。（0855-29-）に続けてダイヤルしてください。
- ◆ 市町派遣スタッフは各市町教育委員会勤務です。
- ◆ お気軽にご活用ください。



【所長】 杉野本智幸
★総括
(5700)



【調整監】 鳥居正嗣
★人事・任用・服務
(5701)



【総務課・教職員互助会浜田支局】
大崎章子 福田幸太郎 黒見正樹
(5705) (5704) (5711)
濱村修司 藤田裕由 新川勝美
(5702) (5702) (5703)
★給与・手当に関すること
★旅費に関すること



【浜田市・大田市派遣】

矢田悦夫 上ヶ迫定夫 領家弘典
(大田市) (浜田市) (浜田市)
滝本浩之 川上諭 竹下和宏
(浜田市) (大田市) (大田市)

【江津市・川本町・美郷町・邑南町派遣】

岡田和明 橋井泰治 堀康弘
(江津市) (江津市) (江津市)
生越徹 大地本央仁 大屋裕二
(美郷町) (川本町) (邑南町)



【各市町派遣指導主事】

★学力向上, 生徒指導, 特別支援教育

【社会教育スタッフ】

大石学 吉田茂延 小谷明浩 松原聡
(浜田市) (大田市) (美郷町) (川本町)
星野明洋 寺本典則 山本尚生
(浜田市) (5709) (5712)

- ★社会教育, 生涯学習
- ★ふるさと教育の推進
- ★人権・同和教育の推進



【学校教育スタッフ】

伊津洋士 宇野正一 濱崎政寿
(5708) (5706) (5707)
堀江真佐邦 石橋邦彦 松本潔
(5706) (5707) (5706)
★学力向上, 学校訪問, 学力調査
★生徒指導, 特別支援教育, 幼稚園教育
★各指定事業



各市町の取組から ～美郷町～

目立たず、しかし確実に

美郷町派遣社会教育主事 小谷明浩

社会教育主事として美郷町に派遣され3年目になります。教職員の皆さんからは、「小谷は一体、どんな仕事をしているのだろうか」と思われがちです。存在は知っているけど、業務内容については分からないというのが実情です。その私も、学校現場にいる時、『社会教育主事』のことはよく知りませんでした。

社会教育には教科書がありません。いわば、何でもありです。その中でも、『大人の学びを促す』ということが目標になるのでしょうか。最終的には『地域の教育力の向上』が目標です。教育委員会でも、それをめざして取り組んでいます。公民館支援、ふるさと教育、人権・同和教育、放課後居場所事業、生涯学習講座、各種講演会、社会教育委員の会、それらが私の業務です。

しかし、業務として投じた一石は、「地域の教育力向上」の中では、ほんの小さな石に過ぎません。大きな石があればいいのですが、そういうものでもないと思います。小さな石ですが、投げ続けることに意義がある、そう信じて日々を過ごしています。

直接、学校現場に関わる事は少ないですが、美郷の子どもたちを支えるための、地域の土壌づくりが社会教育の仕事と考えています。主役は住民の皆さんですので、私は黒子に徹しながら、目立たず、しかし確実に業務に取り組みたいと思っています。



架け橋として

美郷町派遣指導主事 生越徹

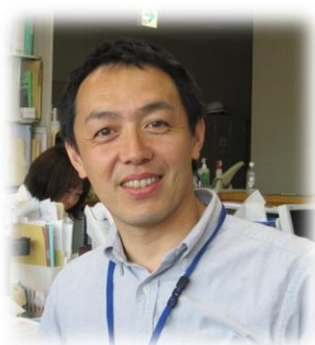
美郷町内には江の川が流れ、14もの橋が架かっています。教育委員会がある美郷町粕淵から大和小学校・大和中学校に向かうと、色や形の違う様々な橋が四季折々の風景と相まってとても美しく、時々、車を止めてゆっくりと眺めていたい衝動にもかられます。

派遣指導主事として美郷町教育委員会に勤務して2年目になりました。学力を育成するためには「子ども達が安心して落ち着いた学校生活を送り、学習にしっかり向き合えること」「先生方が共通理解のもと協力しながら、子ども達を指導していくこと」「学校と家庭、地域とがしっかりと結びつき、子ども達を支えていくこと」など幅広い取組が必要です。

「子ども達と教材を、子ども達と先生方を、先生と先生を、学校と家庭や地域を、学校と教育委員会を等々、様々なつながりをよりしっかりと結び付け、子ども達の成長につなげていく。」これが今年度の私のテーマなのかなと思っています。

今年度は邑智中学校が「家勉充実・授業改善プロジェクト」、大和小学校が「人権教育研究指定校、兼：人権・同和教育研究指定校・園事業」に指定されています。大和小学校では、10月10日（金）に研究大会も開かれます。また、美郷町教育委員会としては、町内の中学生を対象とした学習支援館を開館し、子ども達の家庭学習を支援していきたいと考えています。

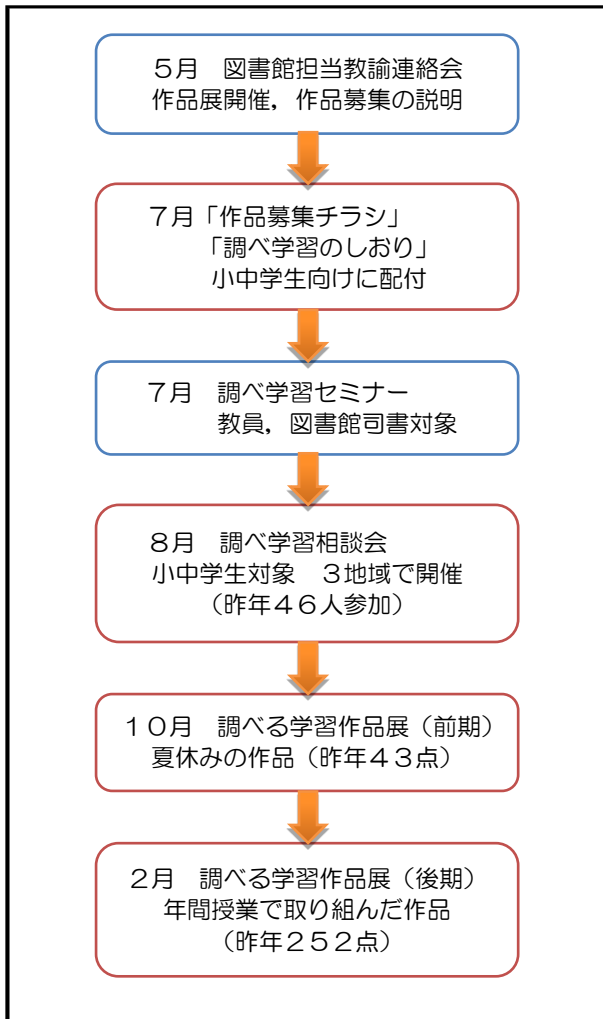
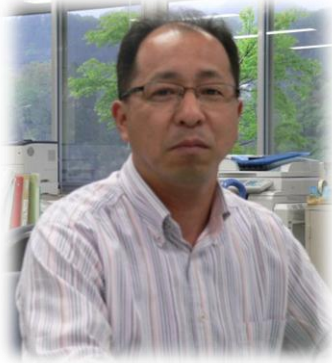
私もみなさんの架け橋として、しっかりと結び付けられるよう、頑張っていきたいと思っています。よろしくお願ひします。



各市町の取組から ～邑南町～

調べ、まとめ、伝える楽しさを子どもたちに 邑南町派遣指導主事 大屋裕二

邑南町派遣3年目を迎えました。邑南町教育委員会では、2年前から『邑南町調べる学習作品展』を前期、後期の年2回開催しています。子どもたちの思考力・判断力・表現力を高める支援をしたいと始めたものです。開催までの取組の流れは下図のとおりです。



夏休み前には子ども向けの「作品募集チラシ」に合わせて、「調べ学習のしおり」(図1)を配付しています。テーマ決めからまとめまでのポイントをまとめたものです。夏休み取り組んでほしいと願っていることです。

とは言っても、しおりを配付ただけで子どもの意欲は高められません。そこで、8月初旬に「調べ学習相談会」を町内3地域で開いています。町内の学校図書館司書さんの協力を得て、テーマをしぼる段階や情報を集める段階での子どもの相談に乗ってもらっています。

やりたいことがはっきりし、調べ方もわかった子どもは、その後まとめまでがんばり、10月の前期作品展に出品してきます。出品してくれた子どもには、さらに意欲を高めてほしいと願い、認定証(図2)を発行しています。

2月開催の後期作品展は、1年間各学校の授業で作ら上げた作品を募集しています。7月の「調べ学習セミナー」で学んだことを生かして、先生方が授業で指導され、子どもたちががんばって作り上げた力作が集まります。応募してくださった学級、学年のがんばりに対しても、前期同様認定証を発行しています。

ところで、この作品展が開催できるのは、以前から邑南町で読書活動、図書館活用の充実をめざした地域、学校、行政の取組があったからこそです。例えば、次のような取り組みです。

- ★町内13ある読み語りグループが、学校や地域で読み聞かせを行ってきている。
- ★保健課と町立図書館がタイアップし、乳幼児健診で絵本をプレゼントしている。
- ★小中の学校図書館司書さんが毎月研修会を開き、研鑽と連携を図っている。
- ★県の図書館パワーアップ事業を契機に、どの学校も図書館改造に取り組んだ。

これからも、主体的に思考・判断・表現していく学習の場を保障し、将来の邑南町の課題を私たちとともに、世界的な視野で、解決していってくれる人材育成をめざして、取組を進めていきたいと考えています。



図1



図2



今年度の学校訪問指導について

浜田教育事務所が行う学校訪問指導については、平成26年4月8日付で調書の提出をお願いし、先日各学校に「決定通知」をお届けしたところです。各学校におかれましては年度初めの大変お忙しい中、調整していただき大変ありがとうございました。

昨年度より、それまでの「市町担当」という方法から、「各学校におけるOJTの機能の充実」、「市町派遣指導主事の活用」「生徒指導と特別支援教育の充実」などを軸に、実施要項を大幅に変更しました。年度末のアンケートからも「学校の実情に合わせやすいので、新しい方法がよい」というご意見がほとんどでした。またアンケートは年度末にまとめてではなく、その都度やっではどうかというご意見も頂きましたので、今年度は、訪問のたびに「しまね電子サービス」を活用したアンケートをお願いする予定です。

A「教科等指導」、B「人材育成」、C「生徒指導・特別支援教育」の 카테고리では、それぞれ次のような思いで訪問させていただきます。

A「教科等指導」

浜田教育事務所管内では昨年度研究大会等が多くありました、今年度から来年度、2年後に向けても次々開催が予定されています。

今年度の学校訪問指導は、このA「教科等」の希望が大変多くなりました。各学校の研究やニーズに応じて、各教科等の研修を深めていただきたいと思います。A「教科等」はあくまでも「学校からの希望」ですので、これが増えたことは大変喜ばしいことと感じています。

「学力育成」に向けての取組を各学校が工夫しておられる中、授業改善の一助になればと思います。

B「人材育成」

今年度は「フォローアップ研修（2年目・教諭）」も訪問対象としました。

初任研、フォローアップ研修、6年目研修、11年目研修と相当な数になりました。対象の先生が多くおられる学校では訪問指導の回数が増えたのではないかと思います。

大変お忙しいとは思いますが、これをよい機会としてとらえていただき、校内でのOJTの機能を充実させ、様々な授業を見合うことで、より一層の授業改善に役立てていただければと思います。



C（1）「生徒指導」

生徒指導関係の学校訪問を昨年度からスタートし2年目に入りました。昨年度は管内の全中学校を訪問し、授業参観と協議をさせてもらい、各学校の生徒指導体制や課題についてお聞きしました。

学校訪問の機会に校内生徒指導体制の再確認をしていただくのが大きな目的ですが、その中で大変参考になる点が多かったので、様々な機会をとらえて、管内の小中学校に情報提供していきたいと思っています。

今年度は、大田市、江津市、川本町、美郷町の小学校を訪問します。どうぞよろしくお願ひします。

C（2）「特別支援教育」

「新設の特別支援学級」「新任の担当の先生」「ここにこサポート配置校」にお邪魔します。「教科等を合わせた指導」または「自立活動」での授業公開をお願いしています。

「特別支援学級ならではの」指導方法、内容ということになります。校内の先生方にできるだけ多く参加していただいて、特別支援学級や通級指導教室の理解に役立てていただきたいと思います。

ここにこサポート配置校はすべて訪問します。管理職の先生、特別支援教育コーディネーターの先生との懇談やここにこサポートティーチャーさんとの懇談を中心に行います。対象児童の個別の指導計画をご準備くださいますようお願いいたします。

※アンケートの内容・URLは、[教育用ポータルサイト](#)
[幼稚園・小中学校/配布資料/教育事務所/浜田教育事務所/H26 学校訪問指導/アンケート]にあるファイルをご覧ください。

楽しく豊かな学級・学校生活をつくる

～特別活動～

学校教育スタッフ 指導主事
濱崎 政寿



浜田教育事務所で特別活動を担当しています。特別活動は、子どもたちの自治的な能力や自主的な態度を育て、学力向上の基盤として必要な望ましい人間関係を築き、いじめや不

登校などの問題に対する予防的な役割を果たすなど、子どもたちの成長に欠かせない教育活動です。

しかし、教科書等のない特別活動において特別活動の教育的意義が必ずしも学校現場において十分に理解されていないという現状があります。

このようなことを踏まえ、「楽しく豊かな学級・学校生活をつくる特別活動（小学校編）」（教員向け）パンフレットが国立教育政策研究所教育課程研究センターから発行され、各小学校に配布されました（平成25年7月発行）。このパンフレットは実際に指導する際のポイント等をわかりやすくまとめ、各学校の先生方の指導力向上の一助となることをねらいに作成されました。

中学校特別活動においても、小学校の学級活動や児童会活動等で、どのような話し合い活動を生徒が経験してきているのかがわかり、考え方、方法等十分生かすことができる資料です。小学校はもちろん、中学校においても、授業や校内研修で活用してください。

このパンフレットの内容の一部を以下に紹介します。

◇取り上げられている内容の一部◇

- ・特別活動に期待されることって何？
- ・学級会をどう指導するの？

学級会の事前の指導は？

学級会の時間の指導は？

学級会の事後の指導は？

- ・係活動をどう指導するの？
- ・目標をもって生活できるようにするには？
- ・生活上の課題をどう授業にするの？
- ・児童会活動をどのように子どもの活動にするの？
- ・特別活動の充実で学校はどう変わるの？

もっと

○「自主的に行動できる児童を育てたい！」○「仲良く協力できる学級をつくりたい！」○「全校児童を生き生きさせたい！」

○「学校を元気にしたい！」

「でも、指導の仕方がよくわからない……」

そのようなときに具体的に役立つパンフレットです。

このパンフレットは国立教育政策研究所ホームページ (<http://www.nier.go.jp/>) に掲載されており、ダウンロードすることができます。

昨年7月に発行された小学校編パンフレットに対して、学校現場等から多くの反応があったようです。中学校編のパンフレットは、現在、国立教育政策研究所教育課程研究センターにおいて作成中であり、今年度中には各中学校へ届けられる予定です。

「より望ましい集団活動」にしていくためには、小学校と中学校が互いの指導内容を理解して、連携することが重要です。また、特別活動が学校全体で展開される教育活動であることから、全教職員が特別活動について理解することも重要です。そのような意味においても「楽しく豊かな学級・学校生活をつくる特別活動（小学校編）」と発行が予定されている中学校編パンフレットを授業や校内研修など、様々な場で活用して、特別活動の指導をよりよいものにしていきたいと思います。



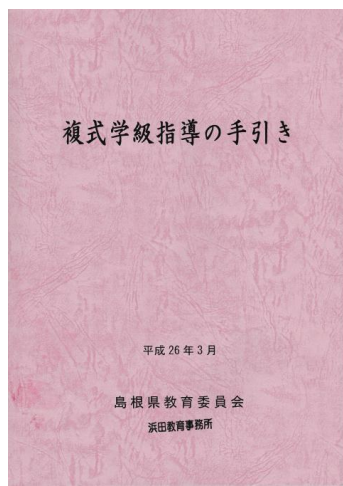
島根県教育委員会からの配付資料等

H26年3月～4月

浜田教育事務所では、島根県教育委員会から配付された資料等をまとめたものを、ホームページにアップしました。http://www.pref.shimane.lg.jp/hamada_kyoiku/gakkou_kyoiiku/sanko-siryo.data/140120gakuryukukojo_kenjoho.pdf
この年度変わりの時期にも、様々なものが配付されていますので、各学校においてご活用ください。
ダウンロード可能なものについては、浜田教育事務所HPのカラー版にリンクが貼ってあります。



組織で取り組む
アンケートQUの活用



複式学級指導の手引



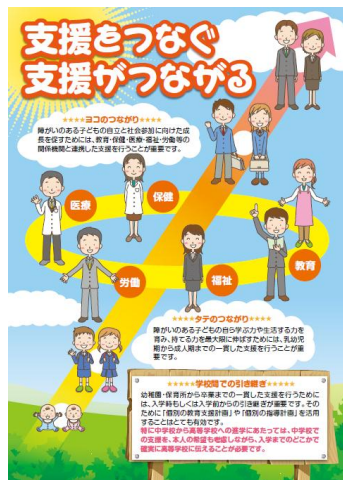
サイエンススクール事業
[実践事例集]



家で勉強する！主体的な
学びをしまねに



子どもの健康づくり
サポート事業



支援をつなぐ
支援がつながる



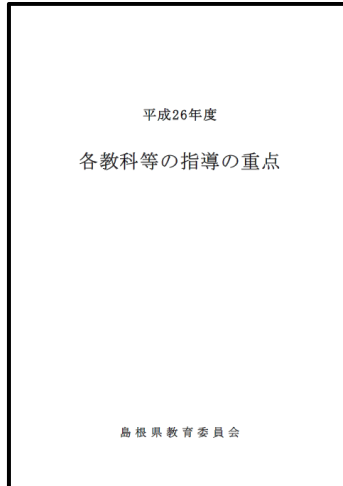
お子さまの就学のために



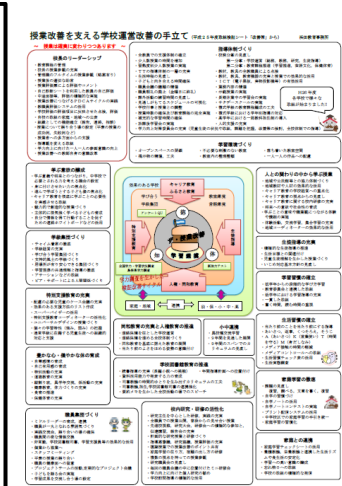
しまねっ子元気プラン
(第二次) 概要版



島根県の道徳教育



平成26年度
各教科等の指導の重点



浜田教育事務所
学校運営・授業改善の手だて (取組検証シートから)

